

総論

「どういう人に残って欲しいのか」から考える必要がある。【B】

データをとりながら、この先どの方向に進むのかを、戦略的に進めていかななくてはならない。【B】

犬山は家を建てると売れる。なぜ犬山で家を建てるとすぐ売れるのかを考えていかななくてはならない。【B】

外から人を呼び込む、中の人を外に行かない。ダブルスタンダードで政策を積み上げていくことが必要。【B】

20代～40代の女性をターゲットにして犬山はこれからまちづくりをしていくことが大事ではないか。【全】

30代～40代をターゲットにするのであれば「教育」が分かりやすい。【全】

住みたいまちをどう作るか。今のターゲットからいくと、教育、子育てのウェイトがかなり高いと思う。【全】

育児と子育て環境をアピール。【B】

「移動の手段」、「保育園の入りやすさ」、暮らすうえでの状況などがいかに整っているかが、家を建てたり、家を借りる際の大事なポイントになる。そういうところを「安心して暮らせます」とどれだけ出せるか。【全】

ある一点を超えると「犬山はこういうまち」というイメージがつくだろうが、そこまでをどう押し切るかがシティプロモーションでは大事。施策と同時に伝え方がすごく大事。【全】

シティプロモーションにはキャッチフレーズが大事。【B】

「お母さんを孤立させないまち」「高齢者を孤独死させないまち」
「働くなら犬山市」「介護支援なら犬山市」
「パパとママなら犬山市」「生きがい得るなら犬山市」
「母になるなら犬山市」

< 関東圏からの移住 >

薄まった政策では効果はない。最初から犬山の魅力を出して、積極的な移住政策を。【A】

犬山に呼ぶんだったら、犬山が積極的にやらないといけない。犬山が本気でやるのであれば、関東方面にアピールした方が、はっきりする。【全】

ピンポイントでターゲット絞ってやらないといけない。【A】

特に通勤に苦労している人たちがターゲット。【A】

フリーランスでできる環境を作る。放課後児童クラブとか待機児童対策とか、低年齢ではなくて、児童期のお子さんに対する教育が大事だから、そこをはっきりと出すことが大事。

個別分野

子育て・教育

「読解力の向上」も大事だが、「教育のICT化」をしっかり進めていかないといけない。【A】

30代～40代の子どもは保育期だけではなく児童期。学童保育や放課後児童クラブへのニーズもある。【A】

技術革新が進んで、そちらに「教育、教育」と言うけれど、子どもたちの心が追いついていかない。キャリア教育＝生き抜く力を育てることも大切ではないか。【A】

お母さんの相談を受ける人がいた方が良い。お母さんはずっとお母さん。【A】

子育てというどうしても乳幼児期、未就学児にポイントが置かれるが、そうではなくて、将来に向けてのつなぎの支援。社会に向けての切れ目のない支援をしていくことが、移住・定住を考えていく上でも必要ではないか。【全】

教育がどんどんデジタル化が進んでいって、技術革新が進む中で、心の教育も必要なのではないか。【全】

給食を中心とした食育。【全】

高齢者

機能回復につながることで、施設と学校、保育園、幼稚園とのマッチング、交流なども施策として、取り入れる必要があるではないか。【B】

高齢者がいつまでも元気に、自分のことは自分でできるということを目指の一つに掲げてもらえたらありがたい。【全】

家族が出かけられない、お金を使う機会も逃している。【B】

ダブルケアやトリプルケア(子育てと介護、それから看護)をさせないことが大事。【B】

介護からの解放。認知症を患って、介護が必要な世帯が多い。ケアが必要な人たちを見つけ出して、みんなで連れ出して開放する。そういう戦略を打ち立てて一回やってみる。【B】

公共交通

交通基盤を徹底的に揃えておくことが定住の条件でないか。早めに社会基盤の一つとして整えていくことが住みよいまちになって、定住促進になるのではないか。【全】

公共移送会社に対して市が補助を出すとか。働く人たちの給料が安い。20代、30代は就職できない。【B】

先ほどの基盤の話と移動の自由を極力みんなの力で、協調して作り上げていく。【B】

女性の活躍

お母さんたちのネットワークが安心してとれる環境づくりも大切。いろんなネットワークを作って、安心してここに住もうと思える環境づくりが必要。【B】

20代～40代前半で復職を希望する女性をサポート。【B】

家計収入の確保。共働きをしながら夢を実現する道を、犬山なら応援できる、求職のサポート体制をしっかりしたほうが良い【B】

その他

観光、農業、文化、自然などに参加・体験ができるとか。お祭りや農業、栗栖、今井の方に住めるなど。そういった犬山独自の魅力について、もう少し突っ込んだ分かりやすいメニューを出しても良いのではないか【A】

他の地域から犬山を眺めてみると、災害に強い安全安心な地理的条件が揃っている。それが犬山の魅力ではないか。【全】

例えば、犬山の強みである観光をモットーとして、事業者を積極的に取り込むことによってまちの魅力が上がり、結果として生産人口、若い人たちの移住を増やす。【全】

街の中でもっと買い物ができる環境づくりも必要。【B】

世代間交流は、犬山はしやすい環境が整っている気がしますので、核家族化が進んでいる中でキーポイントになると思う。【全】

空き家バンクの、市でやるからには、賃貸会社とは違う毛色が出せていけたら良い。家を建てる前に、家で暮らすことを体験。庭の手入れなどのサポート、入った後の支援、相談【全】

最初に賃貸に入って、犬山で子どもが生まれて、そのまま犬山で暮らしたい、と思うのであれば、新婚さんが入れるような賃貸＝布石になるようなものがあるのが必要ではないか。【B】

Society5.0について、具体的なことが載っていないので、載せてはどうか。【全】